

# 可能性を開く絶好のチャンス 国際科学オリンピック

**豊かな社会のために  
科学技術への高まる期待**

はじめに、科学技術の振興などのように取り組んでいるのか教えてください。これからの日本は、少子高齢化が進んでいきます。国際社会では環境、食料、エネルギーなどの大きな問題の解決が求められています。より豊かな社会を築き、また、日本が国際的に貢献していくために、科学技術の力が今より求められていると、我々にはあります。さらに、国際的な競争が激化する中で、日本の競争力を高めるために、科学技術の発展を促すことが求められています。



内閣府特命担当大臣  
(科学技術政策)  
松田岩夫さん

**国際科学オリンピックは  
未来の日本をつくる事業**

子どもたちの理数科離れが深刻化する中、国際科学オリンピックは、理数科学習の起爆剤として注目が集まっている。松田科学技術政策担当大臣に、その高まる期待を語っていただいた。

この計画はすでに第3期を迎え、今年4月から5年間の新たな科学技術基本計画がスタートしています。この中で重点を置いているところは四つあります。一つは、あらゆる成果の源である基礎研究の充実。二つは、戦略的な研究開発の推進。三つは、研究・開発を進める人材の育成。四つは、科学の新しい発見を、実際の社会や経済の変革につなげていく「イノベーション」の創出です。

**科学技術への興味こそ  
人材育成の第一歩**

人材の育成は大変重要だと思っておりますが、どのように取り組んでいくのでしょうか。科学技術を生み出すのはヒトですから、優れた人材の育成は最も大切なことです。そのためには、科学技術への興味を育てることが重要です。

**世界のトップを目指した  
オリンピックへの新政策**

科学技術コンテストのお話が出ましたが、国際科学オリンピックについてはどのようにお考えですか。科学技術の分野は、子どもたちの好奇心を刺激し、創造性を伸ばす絶好の機会です。国際科学オリンピックは、世界のトップを目指すための重要なステップです。

子どもたちの理数科離れが深刻化する中、国際科学オリンピックは、理数科学習の起爆剤として注目が集まっている。松田科学技術政策担当大臣に、その高まる期待を語っていただいた。

子どもたちの理数科離れが深刻化する中、国際科学オリンピックは、理数科学習の起爆剤として注目が集まっている。松田科学技術政策担当大臣に、その高まる期待を語っていただいた。

理科を教室で学ぶだけでなく、実際に体験することで自然科学本来の楽しさを知る、そんな授業に取り組む学校が増えている。

# 科学する心、表現する力を育む 大妻嵐山中学校総合学習の試み

大妻嵐山の理科離れが問題になっているが、一方で薬学部や理学部への進学を目標に、数学や理科の授業に力を入れている学校も増えている。大妻嵐山では、理科の授業を強化し、子どもたちの興味を喚起している。



「女性も感情の動物などよく言われますが、これからの時代、なぜだろうと疑問をもつ、順序だてて類推し、情報を集めながら検証していく自然科学的な思考力や表現力は社会に生きる上で不可欠になります。文系とか理系といった枠組みを超え、科学する心と論理的な思考力、表現する力を育てることがこの授業の目的です。」

「自分自身、理科の授業がすごく面白かったというのが出発点にあるんです。特に実験、教科書を少し離れて自由な発想をアプリーチして、思わぬ結果が生まれた時の感動は、一生の宝だと思います。こんな理科の感動を生徒たちに与えたいんです。」(理科担当 菅川真理先生)

この間も観察は続けられるが、同時にパソコンの操作法を学ぶなどして研究発表に向けての準備が始まる。松原先生の言う「考え表現する力」の育成である。夏休み以降は、研究グループごとに分かれデータのグラフ化や観察スケッチの整理など、月の研究発表会に向けての準備が続く。

## 国際生物学オリンピック国内大会 (国際生物学オリンピック)

2007年7月にカナダ、サスカトーンで開催される第18回国際生物学オリンピック(IBO2007)に派遣する日本代表の選考を以下に行ないます。

**〈応募資格〉**2007年7月の時点において、高等学校または同等の学校(高等専門学校等)に在籍し、3年生(4年制定時制・通信制課程では4年生)以下であること(応募時点で中学生3年生も可) **〈第1次選考〉2006年12月23日(土)** 全国主要都市29カ所(ホームページを見てください) **〈第2次選考〉2007年3月16日(金)~18日(日)(3日間)** 東京大学大学院総合文化研究科(東京都目黒区駒場) **〈応募方法〉**下記ホームページから直接応募するか、ホームページ上の申込書式をプリントしFAXまたは郵送で応募してください。 **〈締め切り〉2006年10月31日(火)必着**

●問い合わせ先 国際生物学オリンピック日本委員会事務局  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 科学技術館内  
TEL.03-3212-8518 FAX.03-3212-7790 <http://www.jbo-info.jp>

## 日本数学オリンピック (国際数学オリンピック)

国際数学オリンピック(IMO)ベトナム大会(2007年7月)の日本代表選手候補を選抜する第17回JMOを行います。

**〈応募資格〉**ベトナム大会開催時点で高等学校またはそれ以下の学校(高等専門学校の場合は高校の相当学年)の在籍生で20歳未満の者 **〈申し込み方法〉**郵便局「払込取扱票」に必要事項(ホームページ参照)を記入して受験料5,000円を振り込んでください(口座番号:001170-7-556492加入者名:数学オリンピック財団)。参考書をお送りします。受験料は12月上旬に発送 **〈締め切り〉**10月31日(火) **〈当日消印有効(予選)〉**2007年1月8日(月・祝) 13:00~16:00 解答のみを記す12間の筆記試験 **〈本選〉**2月11日(日・祝) 13:00~17:00 予選Aランク者に対し証明問題5問の筆記試験。その結果、20人前後の日本代表選手候補者を選び春合宿を実施。合宿終了後、日本代表選手6人を決定します。 **〈その他〉**A・Bランク者には大学推薦入試の特典があります。合宿中に表彰式を行い表彰状、メダル、副賞が授与されます。

●問い合わせ先 財団法人数学オリンピック財団 TEL.03-5272-9790 <http://www.imojp.org/>

## 全国高校化学グランプリ (国際化学オリンピック)

全国高校化学グランプリは、今年も「海の目」に全国の30会場で筆記試験である一次選考が開催され、そのうちの上位約60人が実験を中心とした二次選考に進出し賞を競い合います。高校1・2年生の中の成績優秀者や人程度が翌年の国際化学オリンピックの代表候補となり、特別なトレーニングを受けたの、さらにその中から4人が代表選手に選ばれます。3年生はオリンピックの代表となることはできませんが、二次選考進出者には各種賞品が用意されています。また成績優秀者に特別な入試制度を設けている大学もあります。締め切り間近です。高校生の皆さんのチャレンジを待っています!

**〈応募資格〉**高校生または、高校と同等の学校(高等専門学校の場合は高校相当の学年)の生徒で、20歳未満の者 **〈締め切り〉**FAX:6月23日(金)まで、インターネット:6月30日(金)まで。 **〈一次選考〉**7月17日(月・祝) **〈二次選考〉**8月19日(土) 東京工業大学大岡山キャンパス

●問い合わせ先 社団法人日本化学会内 全国高校化学グランプリ事務局  
TEL.03-3292-6164 FAX.03-3292-6318 <http://gp.csj.jp/>

## ロボカップジュニア (ロボカップ世界大会ジュニアリーグ)

自律型ロボットの設計製作を通して次世代のRoboCupの担い手のみならず科学技術リテラシーを持つ市民を育てる、それがロボカップジュニアの目的です。国際ルールのもと自由な材料と独創的なアイデアでロボットづくりに取り組む国際的な科学技術教育活動です。さらに学習の成果をロボット競技を通して世界の仲間たちと確認し合える学びの共同体づくりを目指し毎年1回世界大会を開催しています。ロボカップ2007世界大会ジュニアリーグは2007年夏に米国アトランタで開催されます。

**〈競技内容・参加資格〉**2007年7月1日(日)時点で15歳以上19歳以下のメンバーが1人以上いるチームは、セカンダリー部門のサッカー、レスキュー、ダンスの3種類の競技に参加可能。また、すべてのメンバーが14歳以上のチームはプライマリ部門に参加可能。 **〈国内選抜の流れ〉**2006年秋~2007年3月にかけて北海道・北信越・関東・東海・関西・九州の各ブロックでブロック代表を決定。2007年5月に開催予定のロボカップジュニア2007日本大会で世界大会へ計18チームを選抜予定 **〈参加方法〉**最初の選抜大会は各ブロック内の都道府県単位で行われます。詳しくはホームページをご覧ください。 ●問い合わせ先 特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会  
E-mail:junior@robocup.or.jp <http://www.robocup.or.jp/junior.html>

## 日本情報オリンピック (国際情報オリンピック)

第19回国際情報オリンピック(IOI)は2007年夏にクロアチアで開催されます。日本代表選手候補を選抜する第6回日本情報オリンピック(JOI2006-2007)を以下のように開催します。本選の成績優秀者(約10人)は春の合宿に招待されて選手選抜テストに参加できます。また、予選や本選の成績優秀者には、大学への推薦入試に関する特典があります。合宿でのテストの結果、成績上位者にメダルと副賞が授与され、その中からIOIへ派遣される4人の日本代表選手が選ばれます。

**〈応募資格〉**2007年夏のIOI開催時点で高等学校またはそれ以下の学校(高専の場合は高校の相当学年)の在籍生で20歳未満の者 **〈予選〉**12月17日(日) 13:00~16:00 ウェブ上で実施 **〈本選〉**2007年2月12日(月・祝) 13:00~16:00 ウェブ上または東京会場実施 **〈受験料〉**無料 **〈申し込み方法〉**7月1日(土)より下記ホームページで

●問い合わせ先 特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会  
TEL.03-5272-9794(13:00~17:00、土・日・祝日を除く) <http://www.ioi-jp.org/>

## 全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 (国際物理オリンピック)

「物理チャレンジ」は、わが国で初めての全国規模の物理コンテストとして、アインシュタインの業績を記念した「世界物理年」の2005年夏に「国際物理オリンピック」と同じ合同形式により岡山県で開催されました。理論問題と実験問題が各5時間という、全国から集まった100人の高校生・中学生にとって経験したことのないタフな方式にもかかわらず、コンテスト後の感想は「おもしろかった。もっとやっていたかった」という、初々しくも頼もしい「パワー」を感じさせてくれるものでした。この入賞者の中から選ばれた5人が、日本初参加となる今年7月の国際物理オリンピック・シンガポール大会の派遣代表となりました。

今年の「物理チャレンジ」は7月に岡山県で、来年は茨城県筑波研究学園都市での開催が計画されています。「物理チャレンジ」では、合同形式のメイトを生かして、著名な科学者・技術者との対話形式の講座、最先端研究施設の見学、研究者・教育者・大学院生・大学生との交流・対話、そして地域文化体験等の行事も多彩に盛り込み、「物理のおもしろさ」を体感できる機会となるよう工夫してあります。ぜひ皆さんも「チャレンジ」してみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。

●問い合わせ先 物理チャレンジ組織委員会事務局  
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 科学技術館内  
TEL.03-3212-8518 FAX.03-3212-7790 <http://www.phys-challenge.jp>